

疫病(えきびょう)封じの願いを込めて ー建部の津島信仰ー

新型コロナウイルスの感染拡大は大きな社会不安となって、日常生活に多大な影響を与えています。地域団体活動も会議の中止、総会の書面議決での実施など、事業計画の見直しが求められています。

「歴史から未来が見える」と言います。私たちの先祖たちは、この様な困難にどのように立ち向かったのか探ってみました。

神仏の力で封じ込め

旧村の各所に「津島さん」が祀られています。祭神は牛頭天王(ごすてんのう)、須佐之男命(すさのうのみこと)です。仏教の神様と日本の古来神が同じくして祀られるのは、本地垂迹(ほんじすいじゃく)といい、それぞれが化身として存在しているとの考えからです。疫病も神の仕業と考え、二つの神の力を合わせればより強力な力を発揮するからでしょう。道端に祀られているのは、「疫病神は道を通ってやって来る」との人間的な発想があります。



神様の力を甦(よみがえり)させよう

津島信仰は集落の中から代参人を選び(くじ引きが多いようです)愛知県の津島神社に代参し、お礼をいただきお祈りします。5月、9月頃ご遷宮を、8月には津島立て(津島飾り)を行い(花、榊、御神酒、洗い米、口ウソクなどをお供え)神様の力を高めるお祭りをします。お参りの後、講員にて飲食をします。

日本人の精神性で乗り越える

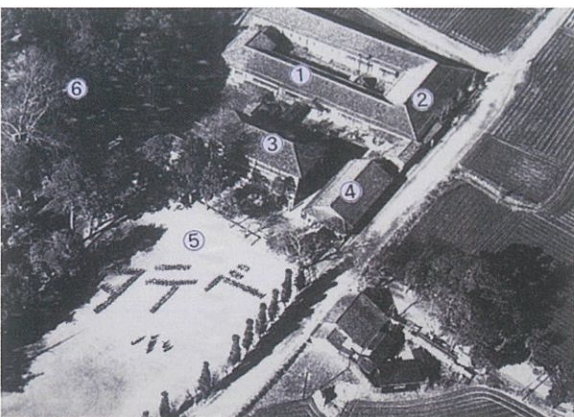
日本人は、その歴史の中で天災に見舞われ(新型コロナウイルスも天災か)、困難を克服してきました。信仰に頼ることは、科学未発展の時代は合理的な考えですし、とにかく、神や仏の違いを乗り越える、力と力を合わせて(ラジオとカセットテープを合わせてラジカセを、電話とカメラを合わせて携帯電話を発明した)日本人の豊かな発想と慈悲の精神でこの難局を乗り越えましょう。

建部の歴史 ー建部小学校ー

明治22年の町村合併により建部村が発足し、建部小学校ができました。現在の建部幼稚園の所に建てられており、各学年とも1クラスで、戦後のベビーブームの影響もあり、1クラスおよそ50人の児童数でした。

1954年(S29)8月の八日市市の発足に伴う小学校の統合計画により、建部小学校は1960年(S35)3月に閉校となり、全児童は当年4月に開校された八日市北小学校に通学することになりました。小学校統合の際には、通学距離が長くなる事から下野町などから反対運動

が起こりましたが、特別にバスを運行することで決着しました。実際に建部小学校に通った人は、今では67歳以上の方のみと数少なくなりました。1964年(S39)3月には建部小学校運動場の跡地に市営住宅(日吉住宅)が建てられました。



①平屋校舎 ②講堂 ③二階建て校舎 ④幼稚園舎 ⑤運動場 ⑥日吉神社

建部小学校校歌

(作詞：中島覺一、作曲：井上武士)

- 愛知の川波水澄みて
瓦屋寺山風清し
このよき里に生い立ちし
御民吾らは幸多し
- 春は若草香も高く
秋は黄金の稲の波
この豊じょうの地に立ちて
いざや励まん吾がつとめ
- 昔尊き建部の
流れを汲める吾等なり
御国のためにこの命
捧げつくさん諸共に
(戦争が色濃く残る歌詞になっています)

★ 建 たてべだより

第2号
令和2年5月
電話 22-0303
IP 5801-0303

編集：発行：建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター

令和2年度の各団体の役員のご紹介 一年間宜しくお願いいたします。

老人クラブ連合会

会長 奥 善文 (北)
副会長 古川 義雄 (南)
副会長 畑 勇 (日吉)
副会長 赤沢 善治 (上中北)
会計 野村 修 (下野)
【敬称略】

子ども会連合会

会長 村山 絵里華 (竹鼻)
副会長 梅原 早苗 (日吉)
【敬称略】

人権のまちづくり協議会

会長 林 明雄 (南)
副会長 山本 喜一郎 (石地)
副会長 富田 徳造 (南)
副会長 西村 雅夫 (東二)
副会長 中西 一夫 (堺)
監事 杉本 一夫 (北)
監事 大谷 直之 (瓦屋寺)
会計 福井 千鶴 (北)
【敬称略】

青少年育成会

会長 菊井 仁司 (上中北)
副会長 野村 顕 (北)
副会長 松本 三男 (南)
副会長 中井 昇 (東一)
監事 茨木 勝俊 (堺)
監事 能登 健 (石地)
【敬称略】

人権のまちづくり協議会の三者懇につきまして、現在日程の調整中です。詳しい内容や、日程などが決まりましたらお知らせいたします。

『新型コロナウイルス感染拡大防止に関するイベント・行事のお知らせ』

未だ終息を見ない新型コロナウイルス感染の状況を踏まえ、下記イベント・事業の開催中止または、延期を決定いたしましたので、お知らせいたします。

開催を楽しみにして下さった皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

- わくわく考房・・・開催日延期（日程が決まり次第お知らせします。）
- コミセンサロン・・・9月開催予定
- 第6回建部里まつり・・・中止
- 第2回たてベサマーフェスタ・・・中止
- チャリティゴルフ・・・延期、開催できる時期が来ましたら、たてべだよりにてお知らせいたします。
- いきいき子ども塾・・・今年度の募集は、取りやめます。

社協だより



『手作りマスクと元気を届けようプロジェクト』

新型コロナウイルスの感染が広がり、皆さん、不安の中、生活されていることと思います。

東近江市ボランティアセンター（市社協）から頂いた、手作りのマスクとメッセージカードを建部地区の給食受給者の方へお届けしました。

この事業は、一人ひとりができることでお互いに助け合い、元気づけ合えたらと、始められました。

ボランティアの方の優しいぬくもりにとっても喜ばれていました。



いこいの会参加者募集



【対象】65歳以上の方

【開催日】7月～2月の第2火曜日

※1回目は7月7日（火）

【場所】建部コミュニティーセンター

【時間】午前9時30分～12時

【持ち物】エプロン・三角布・材料費500円
米0.5合

【申込み】6月19日（金）までにお申し込み下さい。

建部地区健康推進員

代表 福島（0748-23-1260）

藤田（0748-22-4260）

今年度も右記の通り募集します。皆さんお誘い合わせの上多数ご参加お待ちしております。

月 日	内 容
7月7日（火）	野菜を使った料理
9月8日（火）	内容未定
10月13日（火）	内容未定
11月6日（金）	フラワーアレンジメント・調理
12月8日（火）	クリスマス会・調理
2月9日（火）	理学療法士の話・調理

民児協だより



”誰が今日の事態を予想したでしょうか？”

中国に発した新型コロナウイルスは世界中にあっという間に蔓延し、多くの人の命を奪い続けています。また、その終息（収束）については、短中期的には治療薬、根本的にはワクチンの開発実用化が進まないと言われているとされており、皆の外出自粛の協力などで、多少感染者が減少しつつありますが、ゼロになることは当分ないものと覚悟して生活しなければなりません。

私達に出来る事は連日マスコミ等で報じられているように、

- ① 不要不急な外出の自粛（但し、適度な運動は心掛けて下さい。）
- ② やむを得ず外出が必要な場合は、マスクを着用して3密（密閉・密集・密接）を避けましょう。

現在の所、非常に日常生活を送るには不便なことも多いですが、「これらのことを実践する以外に感染拡大を防止する策はありません。

こういった対策を行っても、不幸にして感染者が出た時、我々は絶対偏見による差別等を起こさないようにし、また明日は我が身と思ってみんなで助け合うようにしましょう。

なお、現状で失業等の生活する上で様々な支障が出た方は、一人で悩まず市役所、社会福祉協議会、民生委員等にご相談ください。

また、こういう状況に付け込んで、色んな詐欺行為が行われておりますので、ちょっとおかしいなと思えば、誰かに相談してみてください。

今は誰も経験したことがない事態です。みんなで力を合わせて「コロナウイルス」に打ち勝ちましょう。